

科学技術関係人材育成に関する今後の重点施策について（素案）

科学技術システムの改革等

（１）産学官連携の推進

大学・公的研究機関等における産学官連携や知的財産の管理・活用を推進するための体制強化と、研究成果の積極的発信

博士課程学生が産業界における研究開発を体験して視野を広げる機会や、ポストドクターが産業界との共同研究等において明確な位置付けをもって研究開発に従事できる機会を整備

（２）研究開発型ベンチャーの振興

起業家及びその支援者輩出のための環境整備

- ・ 起業教育の普及等の環境整備
- ・ 起業を容易にする制度設計（最低資本金規制特例、LLC 制度（「有限責任の人的法人制度」）の早期創設）

起業時及び初期段階における支援

- ・ 公的機関によるファンド出資を活用した政策的観点からの集中的・重点的投資と、創造支援型ベンチャーキャピタルの育成
- ・ 補助金制度の改善充実（前払、通年公募、経理事務の合理化等）
- ・ 大学、公的研究機関、官公庁における調達の促進

（３）知的財産の戦略的活用

大学等における知的財産の管理・活用の推進のための環境整備

- ・ 特許・研究マテリアル・デジタルコンテンツ等の研究成果の原則機関帰属化の推進
- ・ 適切な特許関連費用の確保
- ・ 知的財産取扱ルールの明確化等

大学等の研究成果の円滑な技術移転体制の整備

- ・ T L O 及び大学知的財産本部の整備促進
- ・ T L O と大学知的財産本部等間での連携強化

- ◆ 国の研究開発プロジェクト等における、研究開発・知的財産権取得・標準化の一体的な推進
 - ・ 我が国発の技術の世界市場への普及促進
 - ・ 国際規格に向けた積極的な開発・提案

(4) 大学改革の推進

国立大学の法人化を契機に国公私立大学における改革を推進（人事や給与等についての競争的環境の拡大と教員の資質向上）優れた研究教育機能を確立できるよう資源を配分

- ◆ 任期付任用を一定期間経験した後に厳格な審査を経て終身在職権を得る制度（テニユア制度）の導入を奨励するとともに、任期制及び公募制を拡大。これにより、人材の流動化を促進。
- ◆ 大学が、地域や産業界など社会との連携強化、世界水準の研究型大学としての発展等、それぞれの特色を活かし、社会の期待に応え使命を達成してゆけるよう、適正な評価に基づき資源を配分
- ◆ 優れた研究水準・人材育成が可能な大学に対し、その基本的使命・特性を踏まえつつ、設置形態に制約されない競争的な資源配分を拡充

(5) 大学等の施設整備

第 2 期科学技術基本計画に基づき、計画的な整備を着実に実施

- ◆ 私立大学における優れた研究施設の整備に対する補助等に重点配分を基本に充実

科学技術関係人材の育成・確保

【「科学技術関係人材専門調査会」における議論を反映】

- ◆ 国際的に活躍できる科学者・技術者の育成・確保
 - ・ 大学・大学院での教育の充実と意欲的プログラムへの支援。

また、大学院において研究開発プロジェクトと高度の人材育成とを一体的に取り進める先進的取組への支援

- ・ 世界水準の研究能力の獲得・伸長のために、海外における研究の機会を拡充
- ・ 博士課程において優秀な人材が経済的に安んじて勉学することを可能とする支援の充実
- ・ 研究者の流動性向上と、若手研究者・女性研究者・外国人研究者等が活躍できる機会の拡大
- ・ 融合領域における人材の育成・確保
- ・ 「沖縄科学技術大学院大学」の設置準備
- ・ 初等中等教育において科学技術の基礎知識及び科学的な思考力を習得

科学技術活動を支える専門的人材の育成・確保

- ・ MOT 人材へのニーズに応じた養成の高度化。知的財産人材・起業支援等の専門家等の育成・確保。

科学技術に対する理解の増進

国民が夢と感動をいただける機会の提供

- ・ 科学技術の持つ、未知なるものの発見・解明を通じて人を感動させる力、新たな挑戦を通じて国民に夢を与える力を体感できる機会を提供。

科学技術の理解増進のための人材確保

- ・ 科学技術を分かりやすく国民に伝える人材の育成・活用

生活者の視点に立った科学技術活動

- ・ 科学技術の研究開発が生活者としての国民にとってどのような関わりや効果をもたらすのかを分かりやすく説明する広報・公聴を活発化。

併せて、少子・高齢化の進行や「心の豊かさ」志向の中で、生活者のニーズに基づく新たなモノやサービスの創出に繋がる研究開発を振興。